

腸内環境を整える

「乳酸菌生産物質」のはたらき

■ 乳酸菌生産物質とは？

ヒトや動物の腸では、生まれた時から日々健康で恒常性を保つため、腸内で乳酸菌などの善玉菌が、腸内環境を整える「乳酸菌生産物質」を毎日作っています。

「乳酸菌生産物質」を腸内で順調に生産することは、健康維持に欠かせません。

■ 乳酸菌生産物質の「働き」と「効果」

- ・免疫賦活
- ・抗アレルギー（アレルギー性皮膚炎・アトピー）
- ・整腸作用
- ・コレステロール低下作用
- ・血圧降下作用
- ・抗腫瘍効果
- ・疾病予防、回復
- ・抗血栓、造血作用などの生体調節
- ・生体防御
- ・老化制御
- ・寿命延長

動物も人と同様、ストレスや加齢などにより、整腸力が低下し、その結果「乳酸菌生産物質」を作り出す主要な善玉菌である乳酸菌も減少し、腸内バランスが崩れ、さまざまな病気の引き金になってしまいます。

■ 「乳酸菌」と「乳酸菌生産物質」の違い

減っていく善玉菌を、簡単に増やすことはできません。

なぜなら、乳酸菌が多く含まれるヨーグルトなどの乳製品や発酵食品などを食べても、腸に届くのはわずか10万分の1で、そのほとんどが胃酸や胆汁の攻撃により死滅してしまうため、腸で作用することが不可能に近いのです。

そこで、乳酸菌に頼らずに「乳酸菌生産物質」をダイレクトに体内に取り込めるよう、サプリメントとして摂取することが有効であると、予防医学の分野で非常に注目されています。

「乳酸菌生産物質」は、胃酸などの影響を受けないので、腸に届き、腸内を善玉菌優勢の状態にし、悪玉菌の増殖を止めて病気を防ぎ、快適な健康生活と健康長寿におおいに貢献します。

